

# Corporate Profile

会社案内 2024-25

株式会社NTTデータグループ

〒135-6033 東京都江東区豊洲3-3-3豊洲センタービル

URL: <https://www.nttdata.com/global/ja/>

## ごあいさつ



NTTデータグループの新社長に就任し、初めてのメッセージをお伝えすることとなり、大変光栄に感じております。また、株主の皆様から信任をいただいたことに、心より感謝申し上げます。そして、世界中の当社グループの社員の活躍と貢献に改めて深く感謝の意を伝えたいと思います。

ITサービス業界はまさにダイナミックな変革期を迎えています。テクノロジーの進化の中でも、特に生成AIの出現は、これまで経験したことのない様々な機会を生み出しています。私たちは、これらの新しい技術を革新的なソリューションと組み合わせることで、お客様の競争力を高めることができると確信しております。

当社グループは戦略的な観点から、国内事業会社、海外事業会社、それらを統括する持株会社の3社体制に移行しました。持株会社であるNTTデータグループは、グローバル戦略の策定、グローバルシナジーの創出、ガバナンスの強化を推進し、国内及び海外事業会社は、これまで以上に機動的な事業展開を進めています。また、NTT Ltd.との統合により、海外事業の売上が全体の60%を超えるまでに成長しました。国内の安定した事業基盤を維持しながら、より海外でのプレゼンスを高めてまいります。

日本においては継続的な成長を実現しており、コンサルティング力とデジタル競争力の強化に確実に取り組むことで、更なる成長の加速を目指しています。お客様の成果、すなわちお客様の競争力を高めるために革新的なソリューションに注力し、お客様のビジネスの成功をともに実現してまいります。

海外においては、NTT Ltd.との事業統合により、これまで以上に幅広く、充実したサービスポートフォリオを揃えることができました。こうした組織能力の拡大とグローバルカバレッジの展開により受注機会も大きく増加しています。今後も、海外での持続的かつ戦略的な事業拡大に注力してまいります。

# ごあいさつ

私たちNTTデータグループは、日本とグローバルの良質なビジネスの経験に基づく価値観を融合することで、統合されたダイナミックな企業カルチャーを築いていきます。このユニークなカルチャーは私たちの成功に欠かせないものであり、それを育むことにより、持続的な成長を実現してまいります。

最後に、NTTデータグループとして、社会への責任にコミットしていくことをお伝えします。お客様のビジネスの成功を実現することに加えて、私たちが働き、生活するそれぞれの社会に対してポジティブな影響を与えるとともに、将来の世代のためにより良い地球環境の実現にも貢献してまいります。

これからも引き続き、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。未来は大きな可能性を秘めております。NTTデータグループを更なる高みへとリードしてまいります。

代表取締役社長

# 佐々木 裕

## Profile

1990年エヌ・ティ・ティ・データ通信株式会社(現 株式会社NTTデータグループ)に入社。2016年執行役員に就任。業界横断で活用できるITソリューションの開発やサービス提供を担う事業に従事した後、製造業のお客様の事業変革をサポートする事業の拡大に取り組んだ。2020年に常務執行役員に就任。2021年からは、のべ3年にわたるNTTデータの持株会社体制への移行、それに伴う海外事業会社の統合と国内事業会社の設立をリードした。2023年、設立した国内事業会社(株式会社NTTデータ)の代表取締役社長に就任するとともに、持株会社であるNTTデータグループ社の代表取締役副社長に就任。2024年6月よりNTTデータグループ社の代表取締役社長に就任し、NTTデータ(国内事業会社)とNTTデータグループ社(持株会社)の2社の代表取締役社長を務める。

東京都生まれ 東京大学大学院工学研究科卒業

趣味はテニス・ゴルフ・サッカー観戦・料理

## Contents

- 1 ごあいさつ
- 3 Our Way
- 4 サステナビリティ経営
- 5 NTT DATA At a Glance
- 7 自己変革の軌跡
- 9 経営資源
- 11 中期経営計画(2022~2025年度)
- 17 役員紹介
- 18 会社情報
- 19 組織図
- 20 株式情報

## 出典等 (Gartner®)

P5

出典 Gartner®, "Market Share: IT Services, Worldwide 2023, Neha Sethi et al., 12 April 2024, Constant Currency Vendor Revenue basis in 2023, ハイパースケイラー: Amazon, Microsoft

Gartnerは、Gartnerリサーチの発行物に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また、最高のレーティング又はその他の評価を得たベンダーのみを選択するようにテクノロジーユーザーに助言するものではありません。Gartnerリサーチの発行物は、Gartnerリサーチの見解を表したものであり、事実を表現したものではありません。Gartnerは、明示または黙示を問わず、本リサーチの商品性や特定目的への適合性を含め、一切の責任を負うものではありません。

本書に記載するGartnerのコンテンツ(以下[Gartnerコンテンツ])は、Gartnerシンジケート・サブスクリプション・サービスの一部としてGartner, Inc. (以下[Gartner])が発行したリサーチ・オピニオンまたは見解を表すものであり、事実を述べているものではありません。Gartnerコンテンツの内容はいずれも、そのコンテンツが発行された当時の内容であり、本書が発行された日の内容ではありません。また、Gartnerコンテンツに記載されている見解は予告なく変更されることがあります。

GARTNERは、Gartner Inc.または関連会社の米国およびその他の国における登録商標およびサービスマークであり、同社の許可に基づいて使用しています。All rights reserved

※本冊子に記載されている情報は原則として2024年度時点の内容に基づいていますが、一部、2025年度の情報を記載しています。

# Our Way

私たちを取り巻く環境は目まぐるしく変化を続けています。

NTT DATAがよりいっそう発展し続ける為には、

経営者・社員一人ひとりが自ら成すべきことを考え、

行動を改革し、事業そのものを変革していかなければなりません。

その為の基本的な考え方を「Our Way」としてまとめました。

ここでは「企業理念」を頂点とした私たちの目指す方向を集約してあります。



## 企業理念

NTT DATAは、  
情報技術で、新しい「しくみ」や「価値」を創造し、  
より豊かで調和のとれた社会の実現に貢献する。

## 社員信条

- 1.わたしたちは、「お客様のため」最善を尽くします
- 2.わたしたちは、「行動」し、「挑戦」します
- 3.わたしたちは、「生き活き」として「明るい会社」をつくります

## Group Vision

### Trusted Global Innovator

お客様から長期的に信頼されるパートナー

私たちはお客様との間に「ロングターム・リレーションシップ  
～長期にわたる揺るぎない関係性」を築き上げ、お客様の夢や望みを実現します。  
私たちは先端技術を進化させ、様々な企業・サービスが集結する  
「エコシステム」を創りあげることで、サービスの付加価値を更に高めていきます。  
私たちは、働く一人ひとりの多様性を尊重することによって、  
グローバルに通用する創造力を培い、刺激し、更に成長させていきます。

## Values ～大切にする価値観～

### Clients First

私たちはお客様を第一に考えます。  
お客様の満足を追求し、お客様の成功の為に、  
最後まで責任を持ってやり抜くことが、私たちの基本精神であり行動規範です。

### Foresight

私たちは、現状に満足することなく、スピード感と先見性を持って行動します。  
お客様のビジネスとITの将来を考え、先見性をたえず磨くことで、  
お客様と一緒に夢を実現し、  
その先にある新しい社会を生み出すことを目指します。

### Teamwork

私たちは仲間とともに達成する「自己実現」を大切にします。  
多様な個性や考え方を持ったメンバーがチームを組み、  
ひとつの目的に向かって知恵を出しあい、協力しあいながら取り組む仕事は、  
個人ではなしえない大きな成果を生み出します。



NTTデータグループ行動規範

[www.nttdata.com/global/ja-/media/nttdataglobal-ja/files/about-us/mission/ntt-data-group-code-of-conduct.pdf](http://www.nttdata.com/global/ja-/media/nttdataglobal-ja/files/about-us/mission/ntt-data-group-code-of-conduct.pdf)

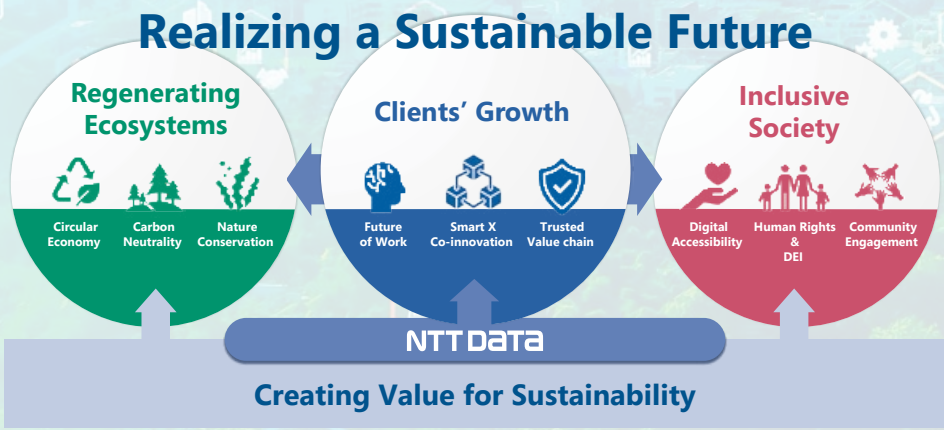
# サステナビリティ経営

当社は、創立以来、「情報技術で、新しい『しくみ』や『価値』を創造し、より豊かで調和のとれた社会の実現に貢献する」という企業理念のもと、お客様や社会へのサービス提供に邁進することで事業を拡大してきました。2022年度からスタートした中期経営計画では、「Realizing a Sustainable Future」というスローガンのもと、未来に向けた価値をつくり、様々な人々をテクノロジーでつなぐことで、お客様とともにサステナブルな社会の実現を目指しています。

また中期経営計画において、社会環境及び事業環境が大きく変化し続ける現在の局面を、更なる成長の機会と捉え、より長期的な視点を持ったサステナビリティ経営を推進する為に、以下の3つの軸を定め、9つのマテリアリティ(重要課題)を設定しました。

「Regenerating Ecosystems 未来に向けた地球環境の保全」  
 「Clients' Growth サステナブルな社会を支える企業の成長」  
 「Inclusive Society 誰もが健康で幸福に暮らせる社会の実現」

サステナブルな社会の実現に向けて、企業活動と事業活動により、  
 社会課題の解決・地球環境へ貢献に取り組むことで、お客様とともに成長していく



マテリアリティ(重要課題)		
Environment	Economy	Society
<p><b>Regenerating Ecosystems</b>                      未来に向けた地球環境の保全</p> <p><b>Carbon Neutrality</b> </p> <p>社会やお客様の脱炭素に向けたイノベーションを創出し、気候変動問題の解決に貢献する</p> <p><b>Circular Economy</b> </p> <p>ごみを減らし、製品やサービスの価値が循環し続ける社会を実現する</p> <p><b>Nature Conservation</b> </p> <p>自然資本の保全・回復によって、健全な地球環境を創出し、人々の豊かな生活に貢献する</p>	<p><b>Clients' Growth</b>                      サステナブルな社会を支える企業の成長</p> <p><b>Smart X Co-innovation</b> </p> <p>スマートでイノベティブな社会の実現に向けて、様々な企業との共創により新しい価値を創出する</p> <p><b>Trusted Value chain</b> </p> <p>セキュリティやデータプライバシーを守り、安心・安全でレジリエントな企業活動を実現する</p> <p><b>Future of Work</b> </p> <p>パフォーマンスとEXを高める新しい働き方を提供し、社会全体の働き方改革を推進する</p>	<p><b>Inclusive Society</b>                      誰もが健康で幸福に暮らせる社会の実現</p> <p><b>Human Rights &amp; DEI</b> </p> <p>多様な人々が互いの人権を尊重し、生き生きと活躍する公平な社会の実現に取り組む</p> <p><b>Digital Accessibility</b> </p> <p>基本的ニーズへ誰もが等しくアクセスできるサービスを実現し、人々のQOL向上を実現する</p> <p><b>Community Engagement</b> </p> <p>地域社会の発展に向けた課題やニーズを理解し、暮らしを豊かにするサービスを提供する</p>

# NTT DATA At a Glance

## NTT DATAの事業

企業理念である  
“豊かで調和のとれた社会の実現”  
を实践し、過去、現在、  
その先の未来において  
世の中になくてはならない事業  
それがNTT DATAの事業

## 顧客・グローバルカバレッジ

あらゆる業界から企業・業界の枠を超えた社会インフラまで、  
お客様の事業成長や社会課題解決に貢献するITサービスを提供  
その積み重ねで培われたLong-Term Relationships  
“お客様との長期にわたる揺るぎない関係性”



従業員 約19.4万人

## 競争優位性・差別化要因

幅広い国・地域/業種で事業を可能とする  
多様性を持つビジネスポートフォリオ

新技術活用を含めた  
世界最高水準のエンジニアリング力

大規模なプロジェクトをまとめる  
マネジメント力

データセンターやネットワーク等の  
グローバル有数のインフラサービスプレイヤー

## NTT DATAの実績

売上高

4.37兆円  
35期連続増収

グローバルブランド力

IT Services brands<sup>\*1</sup>

第6位

グローバル市場

海外市場ITサービス市場ベンダーランキング<sup>\*\*2</sup>  
(売上高ベース)

第6位

\*ハイパースケラーを除くと第4位

日本市場

日本市場ITサービス市場ランキング<sup>\*\*2</sup>  
(売上高ベース)

第1位

\*1 英国Brand Finance社の「Brand Finance IT Services 25 2024」における評価  
\*2 2023年時点。Gartnerリサーチをもとに当社にて算出、出典等はP2を参照

# NTT DATA At a Glance

## 強み

## 提供する主なサービス



### Top Employer

世界29カ国と4地域において  
 [Top Employer 2024]\*1に認定



### 世界トップレベルのデジタル技術

**生成AI**をはじめとする  
 各種リーダー評価を多数獲得

### データセンター事業者シェア\*2

世界 **3** 位

### ITサービス提供の歴史

1967年に日本電信電話公社データ通信本部が  
 設置されて以来

**57** 年

\*1 トップ・エンプロイヤー・インスティテュート (Top Employers Institute, 本社：オランダ・アムステルダム) より、2024年1月に「トップ・エンプロイヤー2024 (Top Employer 2024)」のグローバルと日本の認定を取得

\*2 中国事業者を含まず。Structure Research 2023.5 ReportよりNTTにて作成

# 自己変革の軌跡

NTT DATAは「変わらぬ信念、変える勇氣」のもと、技術革新、お客様ニーズ、及び様々な外部環境の変化等を捉え、柔軟かつ機動的に自己変革を繰り返し、会社創立以来35期連続での増収を遂げ、事業を拡大しています。

## 新たな「しくみ」を創出する為の大胆な自己変革

創立期～ 公共・金融分野中心の事業拡大

日本の社会インフラ・データ通信事業を展開

1995年 東京証券取引所市場

第二部上場

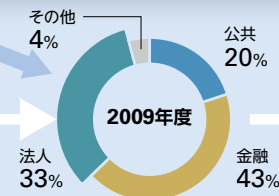
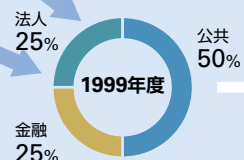
2000年代～ 法人分野の強化・拡大

M&A型ITパートナービジネスを積極展開

2005年～ グローバル進出本格化

積極的なM&Aによる地理的カバレッジ拡大

セグメントポートフォリオ  
売上高構成



売上高  
(兆円)

5.0

4.0

3.0

2.0

1.0

0

1988

1989

1990

1991

1992

1993

1994

1995

1996

1997

1998

1999

2000

2001

2002

2003

2004

2005

2006

2007

2008

2009

2010

2011

2012

2013

1988年

NTTデータ創立

(日本電信電話株式会社から分社)

1991年

バブル景気崩壊

2001年

米同時多発テロ、ITバブル崩壊

2008年

リーマンショック

2011年

東日本大震災

2009年～2013年

ユーロ危機

売上高(左軸)

〈1988～2022年度〉

海外グループ会社

旧NTTデータ(単体)+国内グループ会社

〈2023年度～〉

NTTデータグループ

海外セグメント

NTTデータグループ

日本セグメント+その他

● 営業利益(右軸)

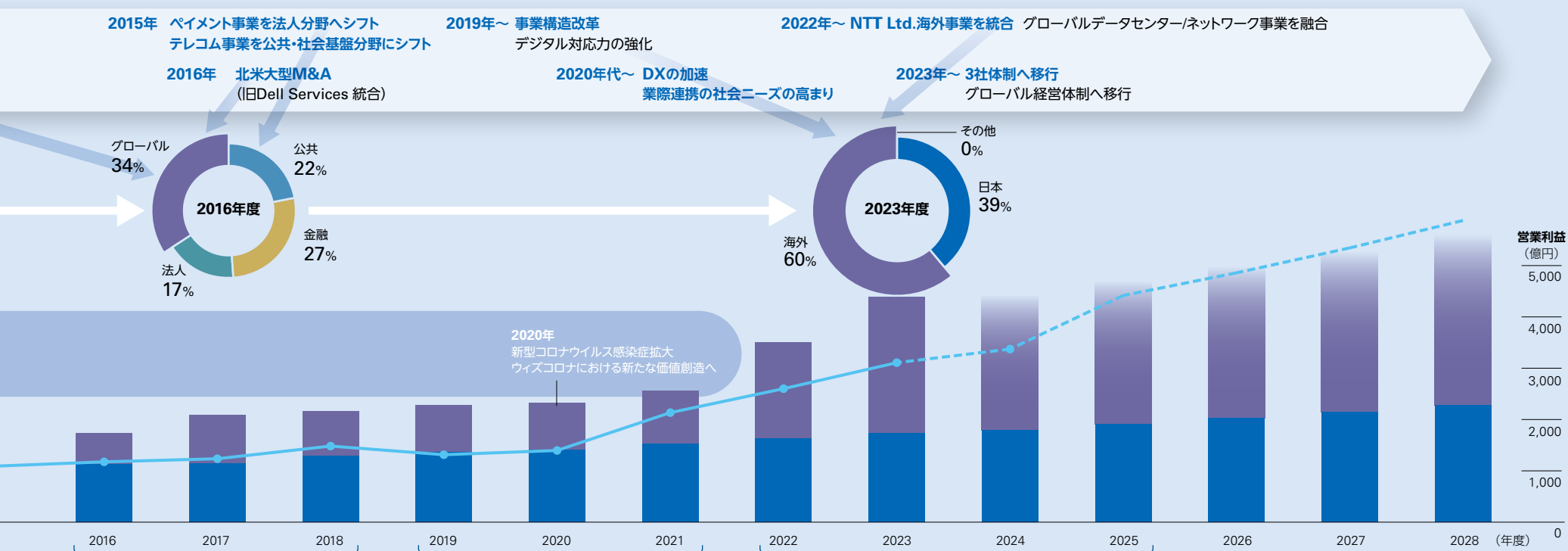
中期経営計画  
経営目標の推移

○: 達成

×: 未達

	2003～2006年度	2007～2009年度	2009～2012年度	2012～2015年度
受注高	9,000億円 ○			
売上高	1.0兆円 ○		連結売上高 1.5兆円超 ×	連結売上高 1.5兆円超 ○
営業利益	750億円 ○	連結営業利益率 10.0% ×		
経常利益	660億円 ○			
		2009年度実績 7.1%	2012年度実績 1.3兆円	
				EPS 200円 ○

# 自己変革の軌跡



2016~2018年度      2019~2021年度      2022~2025年度

連結売上高	2兆円超	○	連結売上高	2.5兆円	○	連結売上高	4兆円超 — 計画見直し → 4.7兆円 <sup>*2</sup>
調整後連結営業利益額	50%増	○	連結営業利益率	8.0%	○	連結営業利益率	10.0% <sup>**2</sup>
(参考) 連結営業利益額 1,420億円			海外EBITA率	7.0%	× 2021年度 実績 6.5%	海外EBITA率	10.0% <sup>**2</sup>
			顧客基盤	80社以上	○	顧客基盤	120社

\*1 M&A・構造改革等の一時的なコストを除く      \*2 2024年度と同水準の為替レートを使用

**2025年度中期経営計画  
達成に向けて  
更なる自己変革を推進中**



## 人財・組織力

- 顧客ニーズや技術のトレンドを掴み、イノベーションを生み出し続けるためには、国内外問わず多様かつ優秀な「人財」の確保が必要不可欠
- 人財の能力を発揮し組織力を最大化するためには、高度な専門性と変化への対応力を有する人財の育成、多様な人財が活躍できるカルチャーの醸成や環境提供、社員のエンゲージメント率向上が重要

当社グループ人財  
50カ国・地域超え

専門性認定者数\*1

約 **19.4** 万人  
(2021年度末時点 15.2万人)

延べ約 **12.9** 万人  
(2021年度末時点 延べ約8.7万人)

世界トップレベルの雇用者ブランディング

### 「Global Top Employer 2024\*2」の認定を取得

- 日本を含む世界29カ国と4地域で認定
- 世界で17社、日本企業ではNTT DATAを含む2社が認定(2024年1月時点)



社員エンゲージメント

グローバル全体 **83** %\*3  
(2021年度末時点 76%)

NTTデータグループ、NTTデータ、NTT DATA, Inc.

新卒就職人気企業ランキング\*4

総合 **2** 位  
(6年連続TOP3)

IT業界 **1** 位  
(15年連続)

離職率\*5

2019	2020	2021	2022	2023
2.6%	2.2%	2.9%	3.3%	<b>3.0%</b>



## 技術

- 技術はイノベーションを生み出し、中長期的な競争力あるサービスを継続的に提供していくに当たり必要不可欠な基盤
- お客様のニーズに対応した最適なソリューションを提案していく為に、システム開発に資する技術力、生成AIなどの先進技術を活用する力を更に強化し、市場成長率以上のビジネスの伸びを起こすことが重要

世界トップレベルのデジタル技術

リーダー評価 ※太字は特に評価の高い領域

**GenAI**

Cloud  
Low-Code Application

**5G**

**Workplace Services**

**Life Science Manufacturing**

Blockchain

**SAP**

(当社グループ人財2万人超)

Managed Network

先進技術開発 イノベーションセンター

拠点※  
※日本、アメリカ、インド、中国、スペイン、ドイツ、イタリア、デンマーク、ルーマニア、ペルー、ブラジル

世界 **11** カ国



NTTグループ

NTTグループと連携した研究開発

約 **2,500** 億円

(NTTグループ全体の年間研究開発費)



## パートナー

- お客様への最適なサービス提供を実現するためには、自社のリソース範囲にとどまらず世界中のパートナーの優れたプロダクトや技術が必要
- パートナーとの良好な関係により安定的で柔軟なデリバリー体制の構築を実現
- グローバルマーケットでのプレゼンスを高めるためには、NTTグループとの強固な連携パートナーシップも重要

世界各国のIT企業とのパートナーシップ

**SAP**

Global Strategic Service Partner

**Cisco**

Global Gold Integrator  
(世界で6社のみ)

**Microsoft**

Global System Integrator Partner

**Snowflake**

Elite Service Partner

これらのパートナー資格保有者数

約 **48,000** 人  
(当社調査結果の合算値)

NTTデータグループ、NTTデータ、NTT DATA, Inc.

多数のビジネスパートナー\*6

約 **170** 社 約 **60,000** 人

\*1 プロフェッショナルCDP認定者数、米国子会社実施NLCIの延べ認定者数

\*2 トップ・エンプロイヤー・インスティテュート(Top Employers Institute、本社：オランダ・アムステルダム)より、2024年1月に「トップ・エンプロイヤー2024(Top Employer 2024)」のグローバルと日本の認定を取得

\*3 海外ではエンゲージメントサーベイ「One Voice」、国内では「NTT統一エンゲージメント調査」として実施しており、国内グループ会社を除くグローバル全体の数値。なお、NTTデータグループ、NTTデータ、NTT DATA, Inc.(国内)における社員エンゲージメント率は71%。

\*4 楽天みん就「2025年卒新卒就職人気企業ランキング」 \*5 自己都合退職者のみ \*6 国内の外部委託先の経営状況を多面的に評価し、優れたお取引先を「ビジネスパートナー(BP)会社」に認定



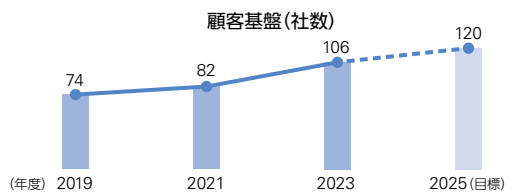
## 顧客基盤

- お客様ニーズを的確に反映した付加価値の高いサービスを提供する上で、「Long Term Relationships」構築による強固な「顧客基盤」は必要不可欠
- 長期にわたる強固な「顧客基盤」により、ビジネスの安定性を高め将来に向けた安定的な投資が可能

年間売上高50億円以上(日本)、  
もしくは50百万米ドル以上(日本以外)のお客様

顧客基盤 全社売上に占める割合

**106**社 約 **40**%



106社内訳

国内

**64**社

海外

**42**社

各セグメント・業種に大きな偏りなくバランスよく存在

国内

高い顧客満足度<sup>\*7</sup>

「関係を継続・強化したい」「相談先への第一候補」

**97**%

\*7 国内顧客を対象とした当社「2023年度お客様満足度調査」の実績

\*8 英国Brand Finance社の「Brand Finance IT Services 25 2024」における評価



## 財務

- グローバルで質の伴った成長に必要な事業投資・戦略投資を行う為のキャッシュ創出に加え、社会や金融・経済を支える情報インフラを安定的に担っていく為に健全な財務基盤を維持すること、また安定的な株主還元を実施する為には、「財務・資本」の戦略的な活用と管理が重要

高い格付

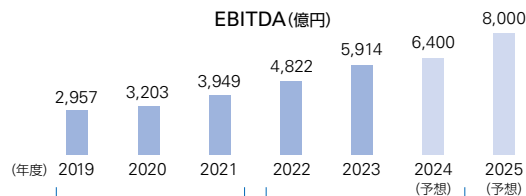
格付投資情報センター(R&I)

**AAA**

日本格付研究所(JCR)

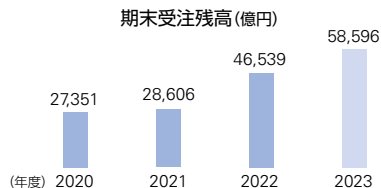
**AA+**

キャッシュ創出力



**10,109**億円 ▶ **17,136**億円  
(前中期経営計画) (現中計のうち2024年度まで)

受注残高からの売上展開率



2024年度売上高に  
占める割合(計画)

約 **53**%



## ブランド

- 「ITサービス」という目に見えない価値の提供や、社会インフラを支えるシステム構築を行う事業特性上、評判や信頼感に基づく「ブランド」価値はお客様から重視される要素
- 新たなビジネス機会の獲得及び収益性向上の為に、世界各国での「NTT DATAブランド」の浸透が重要

世界のITサービス業界で最もブランド価値がある企業

IT Services brands<sup>\*8</sup>

第 **6** 位

ITアナリストにおけるNTT DATAブランド力向上

日本、北米、APAC、ヨーロッパで「Analyst day 2023」を実施  
参加アナリスト約100名からのフィードバック

0 ← NTT DATAに対する認知度 → 100

NTT DATAのケイパビリティに対する認知が高まった 100%

NTT Ltd.との統合はポジティブなインパクトをもたらす 94%

企業のDXを支援する強いパートナーである 92%

強いサステナビリティ戦略がある 92%

NTT DATAを企業により推奨しやすくなった 82%

世界のリーダーとの連携促進、ブランド訴求

World Economic Forum



世界経済フォーラム年次総会(ダボス会議)において、世界のリーダーとともに地球規模の気候変動対策やAI規制などの議論に貢献。年間を通じたイニシアチブにより、当社ブランドを訴求。

# 中期経営計画 (2022～2025年度)

## 全体像

- 中期経営計画では「Realizing a Sustainable Future」をスローガンとして、未来に向けた価値をつくり、様々な人々をテクノロジーでつなぐことで、お客様とともにサステナブルな社会を実現することを目指しています。
- 5つの戦略の徹底した推進と事業成長に向けた戦略投資の着実な実行により、お客様への提供価値を継続的に高めていきます。
- 中期経営計画の最終年度である2025年度に向けて「質を伴った成長」を追求し、各リージョンを横断的に支えるクロスファンクショナルを成長ドライバーに「アセットやソリューションの創出」や、「データセンター需要の取り込み」などにより各リージョンの成長を加速させ連結売上高4.7兆円を目指します。また、これまでも取り組んできた顧客基盤120社、連結営業利益率10%、海外EBITA率10%を目指します。

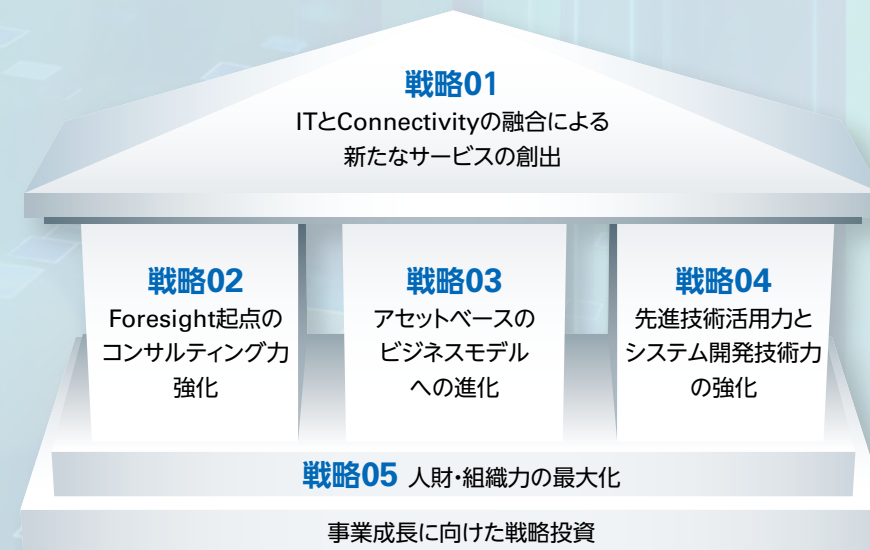
## 企業理念

情報技術で、新しい「しくみ」や「価値」を創造し、より豊かで調和のとれた社会の実現に貢献する

Group Vision  
Trusted Global Innovator

Realizing a Sustainable Future

未来に向けた価値をつくり、様々な人々をテクノロジーでつなぐことでお客様とともにサステナブルな社会を実現する



## 経営目標

連結売上高  
**4.7**兆円

顧客基盤<sup>\*2</sup>  
**120**社

連結営業利益率<sup>\*1</sup>  
**10.0**%

海外EBITA率<sup>\*1</sup>  
**10.0**%

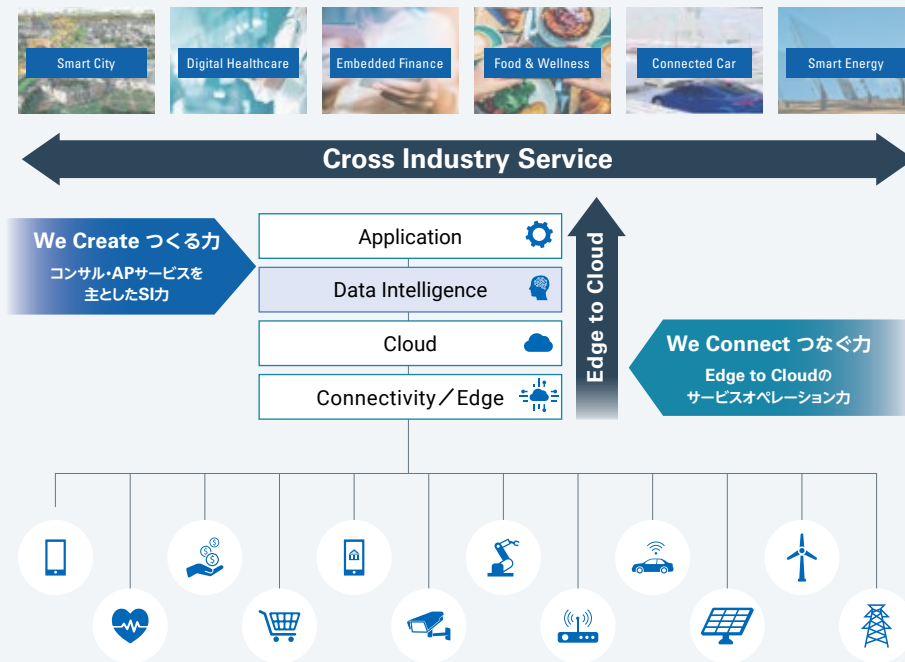
\*1 M&A・構造改革等の一時的なコストを除く

\*2 年間売上高50億円以上(日本)、もしくは50万米ドル以上(日本以外)のお客様

# 中期経営計画 (2022～2025年度)

## 戦略 01 ITとConnectivityの融合による 新たなサービスの創出

グループ内連携強化により、Edge to Cloudのサービス提供力の強化に取り組んでいます。国内事業においては業界の枠を超えた連携、海外事業においては各リージョンの「つくる力とつなぐ力」を活かした連携により、新たなサービス創出に取り組み、着実に実績が出てきています。



### 実績例

## 海外リージョン間の強みを活かした 新たなサービス創出

グローバルに事業展開するフォークリフト製造企業であるHyster-Yale Materials Handling向けに、倉庫内でのフォークリフトの自動制御を目的としたトラフィックマネジメントプラットフォームを海外リージョン間の「つくる力とつなぐ力」を活かした強みの連携(自動制御/マネジメント実施の為のアプリケーション開発力とネットワーク構築力)により提供しました。

お客様はこのプラットフォームと次世代の自動フォークリフトと合わせて提供することで、主力製品の価値向上と、新しいマーケットの開拓、人手不足解消が可能となります。

倉庫内フォークリフトの  
自動制御/マネジメント実施の為の  
アプリケーション開発



導入に向けた既存ネットワーク調査  
ネットワーク提供/拡張

## 戦略 02 Foresight起点の コンサルティング力強化

Foresight (社会や業界、お客様のありべき姿) 起点のコンサルティングにより、お客様と新しい価値を共創する取り組みを進めています。取り組みを通じたコンサルティング力の強化により、お客様の経営課題解決や社会課題の解決に資する案件の創出につなげています。

これまでの取り組みで整備した独自コンサルティングメソッドを拡充し、実プロジェクトでの実践や研修プログラムを通じた社員のスキル強化を進め、研修受講率は2023年度130%を達成(650人)、2024年度も1200人の受講を予定しています。また、当社グループコンサルタントの知見を結集した『フォーサイト起点の社会イノベーション』という書籍の出版や、グローバル、かつ、デジタルな変革の先進の研究・調査を進める研究者を招き、お客様とともに議論する「DX Institute」という取り組みも行っています。



実績例

## コンサルティング力強化による ビジネスコンサルティング案件の獲得

実績の一例として、大手食品メーカー様向けに全社DX推進を加速する為、経営アジェンダベースのビジネスコンサルティングを提供しています。業界の未来像を見据えてお客様の経営層と議論し、販売業務計画やプライシング、人材変革等の様々な経営課題の解決をお客様と一体となって推進しています。

独自コンサルティングメソッドの展開及び浸透により  
当社グループのコンサルティング力を底上げ

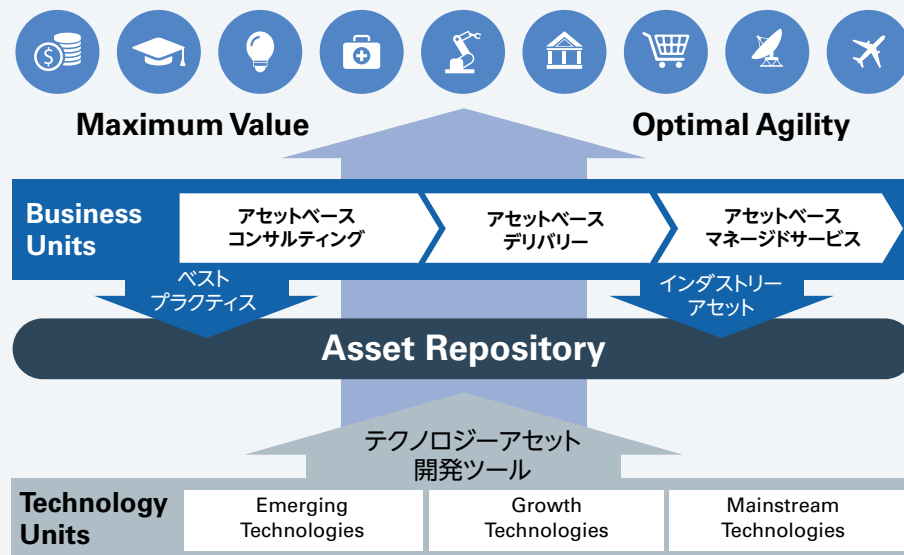


ビジネスコンサルティングによって  
経営課題の解決をお客様と一体となって推進



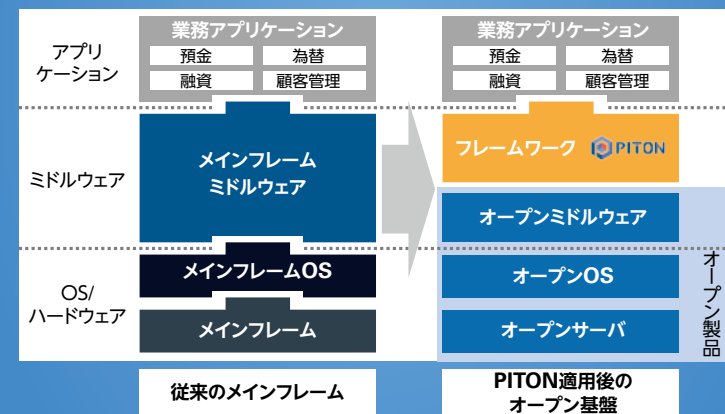
## 戦略 03 | アセットベースの ビジネスモデルへの進化

国内外の事業を通して生み出された暗黙知を形式知(アセット)に昇華させ、広く活用することで、労働集約型から知識集約型のビジネスモデルへと進化させる取り組みを進めています。具体的には、“CX変革”や“データドリブン経営の実現”といった、ビジネスやテクノロジーテーマを起点としたアセット整備やその適用案件の拡大が進んでいます。また、マルチクラウド基盤テンプレートやデータ分析プラットフォーム、サイバーセキュリティ基盤など、テクノロジーソリューション領域において業界横断かつグローバルで共通的に再利用可能なアセットの整備を行い、グローバルで活用可能なリポジトリへ集約を行っています。



### 実績例 業界横断で再利用可能なアセットの開発

実績の一例として、メインフレーム上で稼働する業務アプリケーションをオープン基盤上で稼働させる為の開発フレームワークである「PITON」を開発し、国内銀行業界初のマルチバンクオープン勘定系システムの稼働を開始しています。今後は、更にミッションクリティカル領域における「PITON」を使ったオープン系システム移行の拡大を進め、効率的な運用及び管理負担の軽減を目指します。また、勘定系のクラウド化(統合バンキングクラウド)にもつなげていきます。



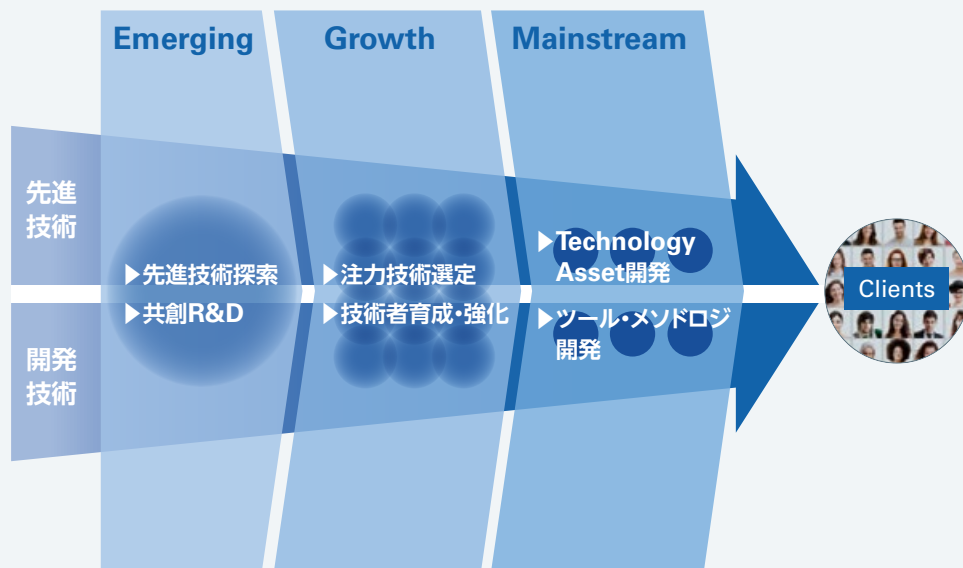
#### オープン化のもたらす提供価値

- サステナビリティ**  
中長期的なハードウェア、IT人財確保により継続性を実現
- デジタル化への貢献**  
最新のオープン技術との親和性向上によりデジタル化へ貢献
- グリーンIT推進**  
クラウドやデータセンター活用によりシステムの消費電力削減

## 戦略 04 先進技術活用力とシステム開発技術力の強化

技術の成熟度に応じたEmerging、Growth、Mainstreamの3つの領域における活動を推進し、未来の競争力獲得に向けた先進技術活用力の強化と、生産性の向上に向けたシステム開発技術力の強化を両輪で進めています。

Mainstream領域ではサイバーセキュリティ、セキュリティインシデントの検知・対応に必要な運用基盤、自動化、脅威インテリジェンス、高度インシデントレスポンスの資産・サービスの提供による売上獲得につなげています。また、Emerging/Growth領域では、先進技術のビジネス活用の加速による生産性向上を目指し、2023年度、生成AI領域のマーケットポジションで最高位評価を獲得しています。

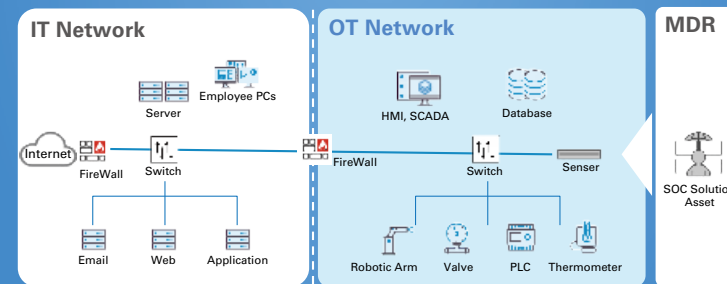


### 実績例

## テクノロジーセット活用によるシステム開発技術力の強化

グローバル56カ国・地域、約19万人規模で導入したゼロトラストモデルに基づくセキュリティ基盤構築のノウハウと、高度セキュリティ専門組織であるNTT DATA-CERTの20年以上にわたるノウハウを活用し、MDR\*1サービスの提供を開始しています。

実績の一例として、グローバルで事業展開する化学系製造メーカーのお客様向けに大規模OT\*2セキュリティ案件を受注しています。サイバーセキュリティのテクノロジーセットを活用して、お客様の世界100カ国以上の生産拠点に対するOTセキュリティ検知システムとMDRシステムの構築から運用までをグローバルデリバリー体制を整備し“One NTT DATA”として提供しています。



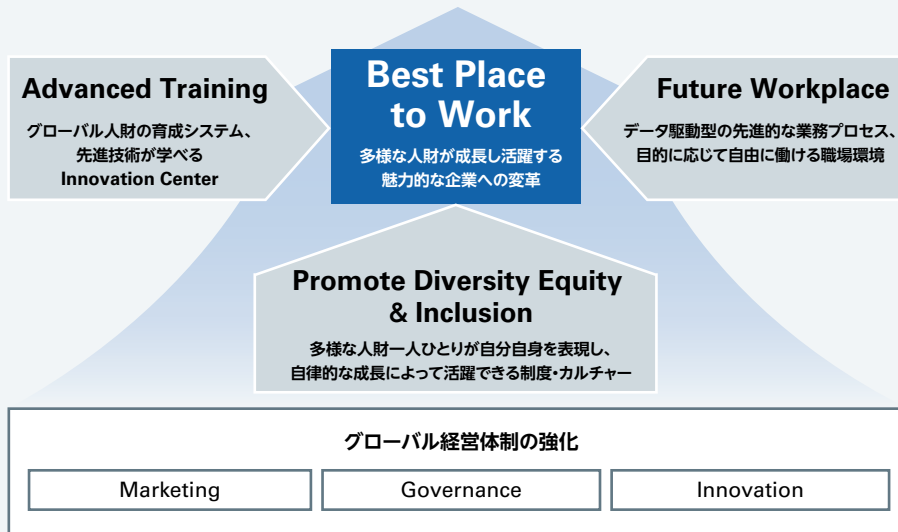
\*1 Managed Detection and Response (MDR)はセキュリティインシデントの検出から対応までを一貫して対応するサービスです。

\*2 Operational Technology (OT)は工場やプラント、ビルなどで稼働するハードウェアを制御する為の技術です。

戦略

## 05 人財・組織力の最大化

「Best Place to Work」をキーワードに、継続的に企業としての魅力を高めていきます。社員の有する多様なスキルの更なる発揮にあたってジョブ型の新しい人事制度の適用拡大を始めており、経験者採用についても継続的に強化をしています。また、グローバルで最先端技術が学べる育成システムや、高い専門性に応じた処遇の実現等、社員の自律的な成長を促す制度を整備するとともに、業務の特性等に応じて働く時間と場所を柔軟に設定できる環境を実現することで、ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンを推進し、従業員エンゲージメント向上を図っています。



### 実績例 人財・組織力強化の取り組み

社員一人ひとりがその力を最大限発揮できる職場づくりが認められ、昨年に続き、日本を含む世界29カ国と4地域で「Top Employer 2024」として認定され、グローバル認定を受けた企業17社の中の1社となっています。

また、Diversity Equity & Inclusionの領域で、包括的な評価を行う「Global Equality Standard」の認証を2023年5月に取得しました。

引き続き、多様な人財が成長し活躍する魅力ある会社づくり(Best Place to Work)によって人財・組織力を最大化するとともに、将来にわたって企業価値を高めていきます。



# 役員紹介 (2025年7月時点)

## 取締役



代表取締役社長  
CEO<sup>\*4</sup>  
**佐々木 裕**



代表取締役副社長執行役員  
コーポレート総括担当<sup>\*1</sup>  
CFO<sup>\*5</sup>  
**中山 和彦**



取締役常務執行役員  
総務・法務・リスクマネジメント担当<sup>\*2</sup>  
グローバルガバナンス本部長  
CRO<sup>\*6</sup>  
**豊田 麻子**

**兼職**  
株式会社NTT DATA, Inc. 取締役



取締役常務執行役員  
事業戦略担当<sup>\*3</sup>  
コンサルティング&  
ビジネスアクセラレーション担当  
グループ経営企画統括本部長  
CSO<sup>\*7</sup>  
**西村 忠興**

**兼職**  
株式会社NTTデータ 取締役

## 社外取締役



取締役  
**藤井 真理子**



取締役  
**池 史彦**

## 社外取締役



取締役  
**石黒 成直**



取締役  
**Eric Lamarre**



取締役(監査等委員)  
**星 知子**

**兼職**  
株式会社NTT DATA, Inc. 監査役

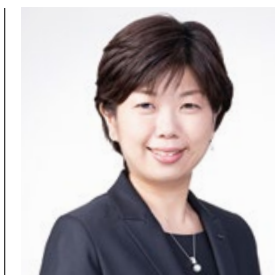


取締役(監査等委員)  
**田井中 伸介**



取締役(監査等委員)  
**坂本 英一**

**兼職**  
株式会社NTTデータ 監査役



取締役(監査等委員)  
**稲益 みつこ**

\*1 「コーポレート総括担当」は、事業戦略、総務・法務・リスクマネジメント、人事、財務・IR、購買、知財、及び広報を総括する分掌です。

\*2 「総務・法務・リスクマネジメント担当」は総務・法務・リスクマネジメントを分掌します。

\*3 「事業戦略担当」は、事業戦略を分掌します。

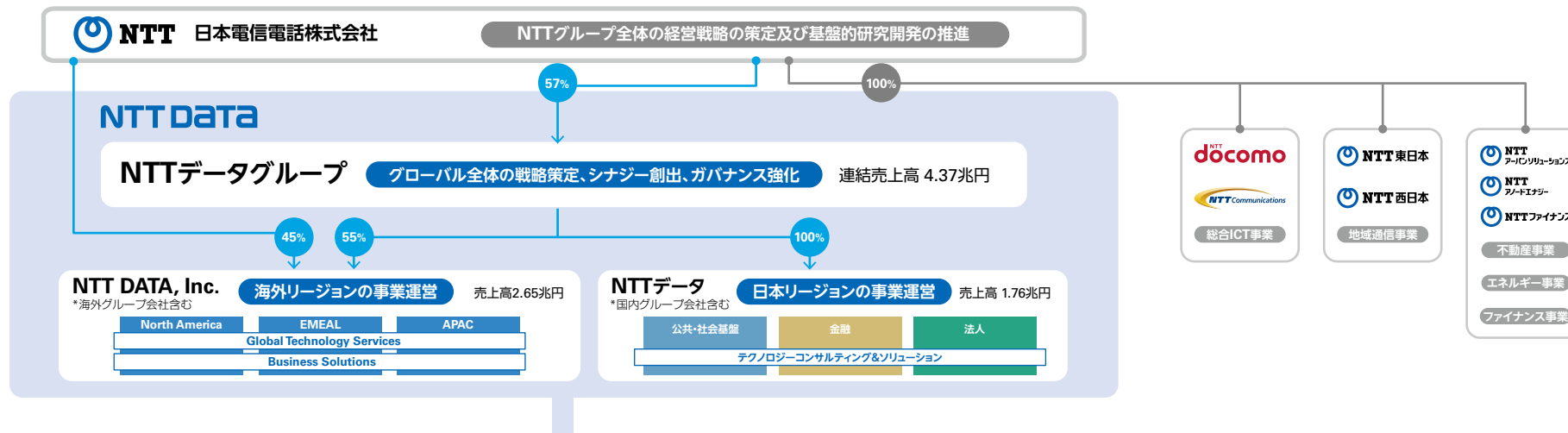
\*4 CEOはChief Executive Officerを示します。

\*5 CFOはChief Financial Officerを示します。

\*6 CROはChief Risk Officerを示します。

\*7 CSOはChief Strategy Officerを示します。

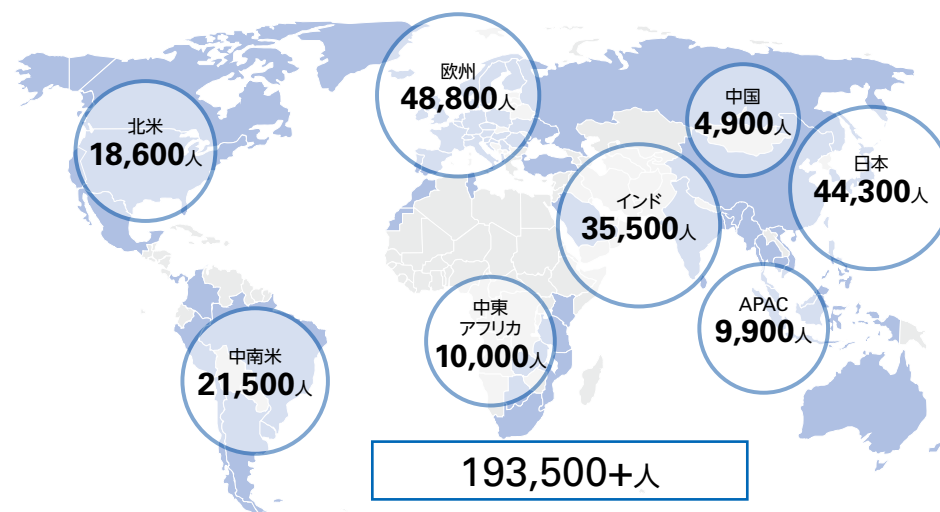
## NTTグループの位置付け/NTTデータグループの基本情報・拠点



### 基本情報

会社名(商号)	株式会社NTTデータグループ
本社	〒135-6033 東京都江東区豊洲三丁目3番3号
設立年月日	1988年5月23日
資本金	142,520百万円
従業員数 (グループ全体) (2024年3月31日時点)	連結：193,513人 単体：1,702人
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
市場	東京証券取引所プライム市場 証券番号9613
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
会計監査人	有限責任 あずさ監査法人

### 拠点 (2024年3月31日時点)



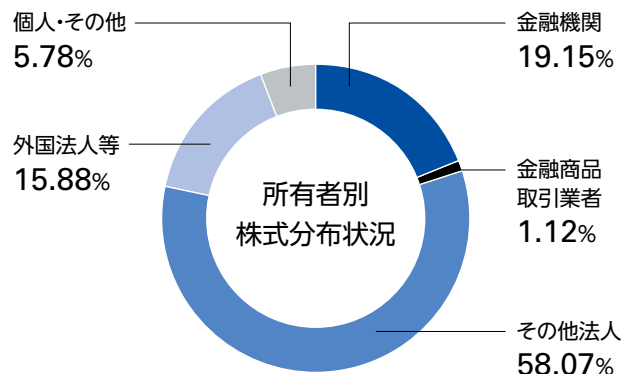


# 株式情報 (2024年3月31日時点)

## 発行済株式数等及び株主数

発行可能株式総数	5,610,000,000株
発行済株式の総数	1,402,500,000株
単元株式数	100株
株主数	86,913名

## 株式の所有者別分布状況(所有株式数比率)



## NTTデータグループの株価(2024年9月30日現在)



	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
PBR	1.9	2.1	1.8	1.9	1.8	1.6	2.2	2.7	1.7	2
PER	45.6	25	22.5	19.3	18.3	19.4	31.3	23.7	16.2	25.4

\*2017/3以前は日本基準

## 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)*
日本電信電話株式会社	809,677,800	57.73
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	164,437,700	11.72
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	88,238,818	6.29
HSBC HONGKONG TREASURY SERVICES A/C ASIAN EQUITIES DERIVATIVES	15,565,812	1.11
NTTデータ社員持株会	14,427,100	1.03
JP MORGAN CHASE BANK 385632	14,352,375	1.02
STATE STREET BANK WEST CLIENT TREATY 505234	12,213,872	0.87
JP MORGAN CHASE BANK 380072	9,267,900	0.66
JP MORGAN CHASE BANK 385781	8,732,301	0.62
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	7,292,569	0.52

\*持株比率は、自己株式(11,218株)を控除して計算しています。